

2013（平成 25）年度

西南学院大学 英文学科主催 講演会

オバマ以後のリンカーン

—アメリカ大統領の文学思想史—

講師：巽孝之氏（慶應義塾大学教授）

1955 年東京生まれ。1987 年コーネル大学大学院博士課程修了（Ph.D.）。2009 年フルブライト基金によりスタンフォード大学客員研究員。2011 年オスロ大学特別招聘教授として集中講義。現在、慶應義塾大学文学部英米文学専攻教授。日本英文学会監事、日本アメリカ文学会代議員および編集委員長、アメリカ学会理事。北米学術誌 *The Journal of Transnational American Studies*, *The Edgar Allan Poe Review* および *PARADOXA* 各編集委員。主な著書に『サイバーパンク・アメリカ』（勁草書房、1988 年度日米友好基金アメリカ研究図書賞）、『ニュー・アメリカニズム—米文学思想史の物語学』（青土社、

1995 年度福澤賞）、『アメリカン・ソドム』（研究社、2001 年）、『リンカーンの世紀』（青土社、2002 年；増補新版、2013 年）、『「白鯨」アメリカン・スタディーズ』（みすず書房、2005 年）、*Full Metal Apache* (Duke UP, 2006)、編著に『反知性の帝国』（南雲堂、2008 年）、『3. 11の未来』（作品社、2011 年）、編訳書にダナ・ハラウェイ他『サイボーグ・フェミニズム』（トレヴィル、1991 年、第2回日本翻訳大賞思想部門賞）、ラリー・マキャフレイ『アヴァン・ポップ』（筑摩書房、1995 年；増補新版、北星堂書店、2007 年）など多数。今世紀の代表的論文に“Literary History on the Road: Transatlantic Crossings and Transpacific Crossovers” (*PMLA* 119.1, January 2004) ほか。

今回の講演会では日本を代表するアメリカ研究者にして、SF を含む現代文学の分野でも気鋭の批評家として国際的にご活躍の巽孝之先生をお迎えします。アメリカ文学思想史を現代批評的視点から再検討し、世界各地で講演をしてこられた経験をもとに「オバマ以後のリンカーン—アメリカ大統領の文学思想史」という興味深いテーマで語っていただきます。アメリカ文学・文化、アメリカ思想史、サイエンス・フィクション、現代批評理論等に興味のある学生の皆さん必聴の講演会です。

日時：2013（平成 25）年 5 月 9 日（木）

15 時 10 分～16 時 40 分

場所：西南学院大学 2 号館 4 階 407 教室

対象：英文学科および全学部の学生

一般聴講歓迎（聴講無料）